

報道関係者各位

フィデッサ、東証 arrowhead 稼働開始に先駆け、 日本市場向け執行プラットフォーム提供の準備が整う

[2009年9月1日、東京] 全金融資産取引対応のトレーディングシステムを、運用会社及び証券会社双方に提供する株式会社フィデッサ(東京都千代田区、社長イアン・チルトン。本社英国ロンドン。以下、フィデッサ)は、2010年1月4日に稼働が迫った東京証券取引所の現物株取引次世代システムである“arrowhead(アローヘッド)”に対応した、日本市場向け執行プラットフォーム提供の準備が整ったことを発表しました。なお、フィデッサが提供する、エンタープライズ型およびホスティング型の双方のシステム形態において arrowhead への接続が可能となります。

株式会社フィデッサの社長、イアン・チルトンは、「東証 arrowhead の稼働開始は、日本株執行市場にとってこれまで過去10年間経験することのなかった画期的なイベントです。我々は東証の計画した導入スケジュール通りに、開発が完了できたことを嬉しく思っています。今回の arrowhead の稼働開始によりもたらされる執行サービスの付加価値を実現するためには、国内証券会社は、執行におけるレイテンシー(データ処理遅延)の最小化、総合的な取引データ分析機能そしてアルゴリズム取引への対応など、より高度なパフォーマンスを実現する技術が求められます」と述べています。

更に、「また、arrowhead 稼働により更なるアルゴリズム取引の普及が予想されますが、フィデッサの先進技術を国内顧客に提供する機会が一層拡大すると考えています。我々は欧米市場で蓄積した経験を活かし、日本市場でのトレーディング技術の進化における先駆者であり続けることを目指します。」と付け加えています。

フィデッサの arrowhead 対応版システムアーキテクチャは、コロケーションサービスへの対応、ブルーボックス(フィデッサ提供アルゴリズム取引エンジン)、包括的な取引データ分析機能、新型データフィード・ハンドラを備えて構築されています。既に既存顧客においては試験運用が開始されており、徐々に新型プラットフォームへの移行が予定されています。

東証 arrowhead 導入により、現行の取引システムでは数秒かかる取引所のデータ処理能力が、10ミリ秒単位まで大幅に高速化されます。これに加えて、東証システムのキャパシティも増強され、分間注文受付ピーク件数の2倍のデータ処理能力が保証されます。更に、呼値の刻みの細分化や制限値幅の緩和など、現行の売買制度にも変更が加えられます。また東証は、arrowhead 稼働により、“FLEX Standard”における取引気配情報を上下5本から8本へ、“FLEX Full”においては全板に拡大させることで、より包括的な市場データを提供することになります。

株式会社フィデッサでは、8月第3週に、「東証 arrowhead の稼働後において、執行パフォーマンスの高度化が市場にもたらす影響を探る」というテーマで顧客向けセミナーを主催いたしました。本テーマについての高い関心を反映し、国内の主要な証券会社から約150人が参加しました。

フィデッサ・グループの製品は、世界各国 730 の企業で 24,000 人のユーザーに提供され、世界の大手金融機関の 85% に採用されています。また、国内外 400 社以上のブローカーと約 2,300 社のバイサイド顧客、さらには 120 の取引所・代替執行市場との間を、フィデッサグローバルネットワークで接続しています。

フィデッサ・グループについて

フィデッサ・グループは、全金融資産対応トレーディングシステム、ポートフォリオ分析、投資意思決定支援、コンプライアンスチェック、マーケットデータ、グローバルコネクティビティを包括する世界最高水準のトレーディングソリューションを、世界の金融市場でトレーディングを行う企業に提供しています。**フィデッサ**が提供する製品やサービスは世界中の様々なタイプの金融資産のトレーディングや保有を容易に管理することを目的として、シンプルな構想に基づいて構築されています。

フィデッサは、数多くの実績を有する高成長企業です。業界標準とされる他に類を見ない製品やサービスを携え、市場における実践的な先駆者として世界中の金融機関に認められています。

フィデッサは、事業開始以来 28 年の間に蓄積された経験を基に、パワフルで回復力のある基幹システムを提供しています。全ての製品は構想段階から自社で開発され、更なる発展を目指して研究開発のための投資が続けられています。この先進的な統合ソリューションにより**フィデッサ**は金融業界では不可欠の存在となり、今や業界を代表する世界中の金融機関の 85% が**フィデッサ**のユーザーです。

フィデッサは、本社をロンドンに置き、欧州・北米・アジア・中東地域に地域オフィスを配しています。顧客企業は大手投資銀行や機関投資家を始め、専門分野を取り扱うブローカーやヘッジファンドなど、約 730 社、24,000 名の登録ユーザーにサポートを提供しています。

フィデッサは、ロンドン証券取引所に上場(証券コード:FDSA)しており、FTSE250 インデックスの構成銘柄です。売上高は約 2 億ポンド、1997 年の上場来の成長率は複利で 30% に達しており、現在世界中で 1,400 名の従業員を擁しています。

詳細については次のウェブサイトをご参照下さい。 <http://www.fidessa.com/JP>

【本件に関するお問合せ先】

株式会社フィデッサ マーケティング部 松原 弘・中野 寛子 電話: 03-4550-1013(直通)
アシュトン・コンサルティング・リミテッド ジョーンズ 美佳 電話: 03-5425-7220(代)